

第21号

平成21年6月

●スペースパークボランティアの会●

S.P.Vつららん

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

一年間の
活動の成果

ボランティアまつり



今年のボランティアまつりは、3月20日から22日の3日間にわたって、開催されました。わたしたち科学ボランティアでは、「分光万華鏡」と「鳴き声コップ(にわとり)(カエル)」を行なうコーナーと、特別コーナーとして私の”静電気の実験コーナー”、阿部(麻)さんと熊本さんの”色変わり実験”コーナーが開催されました。普段の21階でのボランティアと違い、22階で行なわれたのですが、天気がいいとかなり室内はあつくなり、3月といっても汗をかくほどでした。

「分光万華鏡」は分光シートという特殊なシートを使って光(蛍光灯など)をみると、万華鏡のように光が七色に分かれてとても綺麗に見えます。お子さんもできあがった分光万華鏡を覗くと、とても感動していました。

「鳴き声コップ」は紙コップにつながれたタコ糸をこするように引っ張ると、とても楽しい音が鳴るもので、こちらもたくさんのお子さんに作っていただけました。

”静電気の実験コーナー”では、江戸時代に平賀源内がつくったといわれるエレキテル(蓄電器)で静電気が飛ぶ様子をみたり、アルミホイルとプラスチックコップで作ったライデンびんで、実際に静電気を体験してもらったり、静電気の力でストローだけでアルミ缶やわりばしを動かしてもらいました。また、小さいお子さんには長い風船をこすると体や頭にくっつくのが楽しかったようです。

”色変わり実験”コーナーでは、従来の酸・アルカリ反応による変色反応だけではなく、スケッチブックとインジン・レモンを用いた色変

わりも登場しました。これは、スケッチブックの紙に含まれているでんぶんとインジンに入っているヨウ素が反応し、紫色になったり、それにレモン汁をかけると色が消えてしまうというもので、皆さんとても不思議がっていました。

お客様だけでなく、私たちボランティアも楽しんだ充実した3日間になりました。
(野津裕二)

案内サービスグループに参加して早2年が過ぎようとしています。いま振り返れば、1年目は右も左も分からず、先輩方皆様のご指導のもと、無我夢中で月日だけが過ぎていったように思います。

今年3月のボランティアまつりのイベントに参加し、今迄に感じた事のない、満足感や楽しさ、終わった後の充実感を心いっぱいに感じる事ができました。

ご来場のお子さんは勿論、付き添いのお父さん、お母さんと一緒に、昔遊びに興じました。けん玉、輪投げ、折り紙、あや取り、お手玉と、それぞれ時間のたつのも忘れて自分自身も楽しました。

「あや取り教えて」「お手玉もっとやって」とはずんだ子どもさんの声が、いつまでも耳に残っています。

これからも「ふれあい科学館」にまた行きたい」と言われるようにもっともっと勉強し、健康に注意して楽しみながら頑張りたいと思います。
(古川末子)



スペースパークボランティア募集!

※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。
郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課
TEL024-936-0201

去る3月20日から22日に恒例のスペースパークボランティアまつりが開催されました。

わが天文ボランティアは、天体パズル、記念写真撮影等を行いました。21日には、恒例の駅前観望会が行われ、星のソムリエたちが、星空案内ツアーを行い実験ショーも行われました。またこの日の昼は、太陽観望会も行われ、普段見ることができない、太陽の姿を見ることができました。わが天文ボランティアは、初日は、次の日の駅前観望会に備え、最終日は、前日の駅前観望会で力を使い果たすことが予想され、中日21日の活動に全力を注ぎました。

そして天文ボランティアは、やっぱり、夜の活動になると燃えてしまうことと、その結果の固さを立証してボランティアまつりが終わりました。（飯泉良江）



恒例のスペースパーク・ボランティアまつりが、今年も開催されました。

鉄道ジオラマグループでは、鉄道ジオラマショーの

増便と、Nゲージ鉄道模型の操作体験が行われ「模型おじさん、渡辺知彦さん」の操作指導でたくさんの子ども達が、模型操作を楽しみました。ジオラマショーでは、郡山の発展は、安積疊水と鉄道が大きく寄与していることが解説されると、「なぜ、どうして」との質問を受けました。

Nゲージでは、動くものと、音の出るものに关心があるのか模型に音が出たらと云う子どももありました。また持ち込み模型は禁止でしたが、自分の模型を大きい場所で走らせたい願望の子どももありました。2日間でNゲージ操作体験者が202名に達しました。毎年増加する子ども達への対処方法、そしてみんながもっと楽しめるボランティアまつりを目指して、新しい企画を考えたいと思っております。（兼谷 豪）

場所的には狭かったが、今回のダイヤ改正により廃止されたフル編成の寝台特急列車を準備したところ、大半が毎回のリピーターで、2日間続けてきたお得意様（？）もあり、相変わらず鉄道模型は大好評でした。

全ての子どもが鉄道模型の運転経験があれば問題ありませんが、未経験者や幼児等の場合は注意が必要で、今後は幼児等への体験運転は見合わせることも必要ではないかと思います。

1時間に約30人の子どもの相手は、厳しく体力を要したもの偽らない感想です。

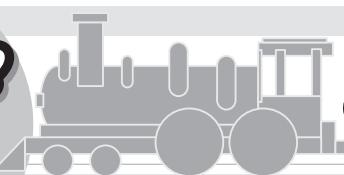
イベントの際、いつも思うことですですが子どもに対する親の躊躇が気になります。

「この親にしてこの子あり」との思いが強く感じた今回でした。

（渡辺知彦）



鉄道ジオラマ グループ



鉄道アラカルト

あなたも始めませんか？Nゲージ鉄道模型を！

Q. メーカーはどうなっているのですか？

A. KATO及びトミックスから車両から線路、構造物、建物等が発売されています。その他マイクロエースやグリーンマックス等のメーカーもあります。

Q. 線路はメーカーが異なるとどうなるのですか？

A. 何ら支障もなくどのメーカーの車両も走行できます。

Q. メーカーが異なる線路は繋ぐことはできますか？

A. KATO及びトミックスの線路を相互に繋ぐことができる特殊な線路が発売されています。

Q. 鉄道模型が常時運転できる場所はありますか？

A. 現在、全国各地に有料で運転できる場所があります（残念ながら郡山市内及び福島県内にはありません）仙台市にはあります。車両持込の場合1時間600円、車両レンタルの場合は1時間1,000円程度で楽しむことができます。また、東京都内には鉄道模型が楽しめるバーやカフェがあります。

（渡辺和彦）





祝・瀧田上之助さん「瑞寶單光章」受賞

スペースパークボランティアの会(S.P.V.)・鉄道ジオラマグループの瀧田さんが、平成21年春の叙勲において「瑞寶單光章」を受賞されました。

旧国鉄OBによる鉄道ジオラマのボランティア活動は、平成14年の6月よりふれあい科学館・展望ロビーの日本最大級Nゲージ鉄道ジオラマでスタートし、平成16年2月のS.P.V.発足に伴い他の3グループと共に活動を続けていますが、S.P.V.発足時には副会長／広報部長と

してS.P.V.発展の基礎づくりに貢献されました。

ふれあい科学館のイベントの中に、瀧田さん達メンバーが総力を上げる「鉄道フェスティバル」があります。メンバーは旧国鉄の制服に身を固めた雄姿で張り切れます。そして、メンバーがお宝として大事に所有している価値のある骨董品を持ち寄ります。瀧田さんは「D51愛護会」のリーダーとして本物の機関車の部品を提出し、運転室で子どもたちが汽笛を鳴らしたり、操作レバーに熱中するのを見守り、人気の衰えないSLの素晴らしさを伝承し保護にも地道な活動を続けています。

ふれあい科学館のみならず、D51愛護会長として幅広く目覚ましい活動を行っていることから、今後ますますのご活躍を祈ります。

(久野 功)

今号のきら星☆さん 天文グループ 菅沼一美さん

あの時のお兄さんみたいに

子どもの時、父に連れていくつも福島市内の天体観望会で、沢山ある星の中からオリオンやカシオペアなど指さしをしてお兄さんに教えていただいたのがきっかけで、大好きになった私です。

あれから30年近く経ち、就職すると同時にパタリと止めてしまった自分を発見したのです。そんな時、新聞で「星空案内人」になりましたか?というフレーズを見かけ、急に「天キチ」が私の中で目を覚ましたのでした。今さらながらも気持ちだけでも若返られればと思い即、応募させていただいた次第です。

毎夜ごと、星座たちの動きは微々たるものです。

しかし、半年後には必ずオリオンはさそりに、ししはペガサスにそ

の位置を譲っていきます。

そうして星座はいつまでも回り続けるのです。同じく人生も世代交代しながらも回り続けている感じがします。

今こそ自分も、あの時のお兄さんみたいにならたらと思い、夢いっぱいの、そしてかけがえのない子どもたちへ少しでもアドバイスが出来るのならと、今、とても純粋に心が奮起しています。それにつけても、「星のソムリエ」の何とハードルが高い事か…。「流石(さすが)」です。改めて、初心に戻り勉強しなくてはと感じている今日この頃です。



天ボラの

知識の泉¹⁵

● 皆既日食

皆既日食とは、月が太陽の前を横切って太陽を完全に覆ってしまう現象です。空は夕方のように暗くなり、明るい星などが現れます。今年の7月22日に日食が起こり、日本では屋久島や種子島などで46年ぶりの皆既日食が見ることができます。(中国の上海などでも見ることができます。)ここ郡山でも太陽の7割程が隠れる部分日食が見られますので、こ

の機会に是非ご覧になってください。また、3年後の2012年5月21日には、屋久島から福島県の太平洋沿岸で月のまわりから太陽がはみ出して見える金環食と呼ばれる現象を見るることができます。日食を見るときは、必ず市販されている日食グラス等を使って見る様にしてください。直視すると目を傷めてしまいます。

(田辺信作)

肉田博士の 魂の叫び!! ⑯『リアルに生きる』

英語の勉強には苦労していて、上手く行かないが故に邪なことを考えたりするのでした。そこで思うに、当然ながら外国語会話のテキストに描かれる家庭や町は大抵善意と善人に満ちているんですね。マイクやジェーンに行儀悪い話や世の憂さを語らせるわけにはいくまいし。だけど、本来会話は世の現実を結ぶ手段のはずだと思うのね。事実大半の日本人にとって間近に見る外国人とどう意を通じ合うか。まず「会話道」というのがあって、「機転利かし、勇敢に、臆せず」「封建的な言語心理からの脱却」を説かねばと思うのでした。日常ありがちな、まずお辞儀をしたり、あいさつ代わりに「どちらへ?」(Where are you going?)と聞くのもいけないわけで…(彼らはどこへ行こうと他人の干渉は受けないから大変だ)。戦後間もない英会話のテキストに、「誰か?」「日本人です」「出ろ!早くしろ!」「撃つな!」「動くな!」「助けで!」「証明書を見せろ!」娯楽と慰安のホールの場面もあるんですね。

「ひとつ踊ってください」「どうぞお願い致します。随分踊りなさるのでしよう」。旅館では、「シャボンと便所紙とタオルはないでしょうか」「お気の毒様です。戦争以来そういう物は手に入らないのです」とあつたり…。時代背景が複雜とは言えGHQの思惑が何だったのか、ともあれ田中角栄は外国のVIPと会う際には、通訳任せにはせず、英文にカナをふった原稿を暗唱するに留まらず秘書官を傍らに、間の取り方からジェスチャーに至るまで練習したんだとか。いずれにせよ懸命な当時の人々の姿を想像しながら会話が今と違い言葉を大切にする古き良き時代。リアルに生きる術ってこういうことなのかなあって思いました。




イベント情報


Event Information

サイエンスフェスティバル

- 7/18(土)~20(月) 10:00~17:00
- 8/12(水)~16(日)

スペースパークの科学のお祭り「サイエンスフェスティバル」にS.P.Vも登場! 夏休みは私たちと一緒に科学をおもいっきり楽しんじゃいましょう! 作って楽しい科学工作と、摩訶不思議(?)な科学実験で、みなさんのご来館をお待ちしています!!



第6回総会&活動表彰式

S.P.V第6回総会が3月8日(日)に、館長はじめ関係者の出席をいただき、出席者・委任状あわせ90名の参加で開催されました。冒頭、佐藤和秀さんに哀悼の黙祷を行い、鈴木光雄さんを議長に選出し、4グループから活動報告、続いて3運営部会の活動報告があり、20年度の努力と成果を確認しました。

引き続き21年度の活動計画と役員選出が審議されて提案通り承認され無事終了しました。そして、20年度は、数々の活動の中で「全国生涯学習フェスティバル」駅前会場に参加し、S.P.Vの総合力を発揮したことが特出されました。21年は「世界天文年」でもあり、例年以上に科学館イベントに参加協力する機会が増えることも予想されるので、天文グループを中心に活発な活動が期待されます。館外活動も郡山市内を拠点に広範囲なものになってきています。総会に先立ち、ボランティア活動表彰式が行われ、今回は活動時間1000時間1名、700時間1名、500時間1名、300時間8名合計11名が佐藤館長より感謝状と達成時間バッジ、700時間以上には記念品が授与されました。今回で3度目の活動表彰式となり、延べ23名が受賞しています。

(久野 功)



平成21年度 スペースパークボランティア 登録状況

今年度もスペースパークボランティアの会と郡山市ふれあい科学館ではスペースパークボランティアを募集、19名の方々が新たに仲間に加わりました。登録状況は以下のとおりです。

●案内サービスグループ	28名
●科学グループ	33名
●鉄道グループ	19名
●天文グループ	33名
計	113名

今後もスペースパークボランティアを募集していきます。

S.P.V 活動情報(～9月) 他に市内出張活動や駅前イベントにも出展予定

案内サービス (約15分)

“昔懐かし”紙芝居

- ◇平日11:30~
- 土日祝11:30~、14:30~
- ☆展望ロビー(北) 隨時実演

鉄道ジオラマ (約20分)

ジオラマショー案内

- ◇平日11:00~のみ
- 土日祝11:00~、15:00~
- ☆展望ロビー(東)

科 学 ☆21階展示ゾーン入館者対象

かんたん科学工作ほか

- ◇土日祝10:00~15:30

天 文 ☆郡山駅西口駅前広場(中央広場)

駅前観望会

- ◇7/4(土)、8/1(土)…19:30~20:30
- 9/5(土) ……19:00~20:00



部分日食観望会

- ◇7/22(水)…9:30~12:30

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第22号 9月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……ふれあい科学館 TEL 024(936)0201まで

編集
あとがき
②

(国) 「線路は続くよどこまでも」わが人生もこのように元気で続いてくれるよう精いっぱい頑張ろうどこまでも。

(椎) 皆既日食…上海に行くグループの皆さん楽しんできて下さいね。これで次回の記事は決まり(!?)

(橋) 展望ロビーに、ことしも美しい七夕の笹飾りができました。夢と希望は多少大きめに書きましょう。

(星) 皆既月食へのカウントダウン…。わくわくドキドキ。あとは当日の天気と体調管理ですね。

